

| |
|--|
| 平成 23 年 7 月 26 日 |
| 7 月の内外鉄スクラップマーケット |
| 海外 <p>①5月の世界粗鋼生産は1億 2986.5 万トン。前月比 2.2%増、前年同月比 4.2%増。1～5 月累計は 6 億 2959.1 万トン。前年同期比 7.3%増。中国の生産は月度ベースで初めて 6,000 万トンを超え、累計生産は 2 億 9034.5 万トン、前年同期比 8.5%増。世界シェアは 46.1%。トルコの累計生産は 1354.3 万トンで同比 23.0%増。韓国は 2820.1 万トンで 18.1%増。米国は 3557.2 万トンで同比 5.2%増。</p> <p>②7～9 月期の原料炭価格は1トン約 315 ドルに値下げ（前期約 330 ドル）、鉄鉱石価格は約 170 ドル弱の横ばい、全体としては 10 ドル、約 2%強の値下げとなった。</p> <p>③米連邦準備理事会（FRB）が実施してきた総額 6000 億ドルの長期国債の購入（量的緩和第2弾＝QE2）は 6 月末予定通り終了。EU ではギリシャ、ポルトガルの国債信用不安で揺れた。</p> <p>④鉄スクラップの貿易相場はトルコ向け HMS（CFR）が 1 月初 535 ドル→4 月末 440 ドル台、在庫補充に動いた5月半ば以降、7月上旬現在、470 ドル前後で小浮動している。</p> |
| 国内 <p>①東鉄・岡山の特級購入価格は 5 月末 36,000 円に下落した。同社には 6 月下旬、豪州シュレッダー 3 万トンが入着したが、この前後から同社は値上げに動いた。</p> <p>②JFEスチール・西日本は同社の系列電炉（JFE 条鋼・仙台、東北スチール）が震災で製鋼を休止、一部を西日本にシフトしているためか東鉄改訂に先立って買いを強めた（倉敷・福山は前月上旬から上げ改訂、下旬にも再改訂）。</p> <p>③関西では 6 月末、中山製鋼が電炉トラブルから荷止め。共英製鋼・枚方が 8 月 17 日から 35 日間、工事炉休を予定、高値が消えた（H2・36,000～38,000 円）。関東では東京電力の 15%電力使用規制が始まったが、電炉生産にはさほど響いていない。</p> <p>④韓国筋の日本玉成約価格はH2FOB35,500～36,000 円。湾岸浜値も FAS35,500 円中心に引き締まった。湾岸ミル価格も H2・35,000 円前後。東西の炉前価格・格差は 3,000 円前後に定着した。</p> |
| 【日刊市況通信 平成 23 年 7 月 12 日掲載】 |